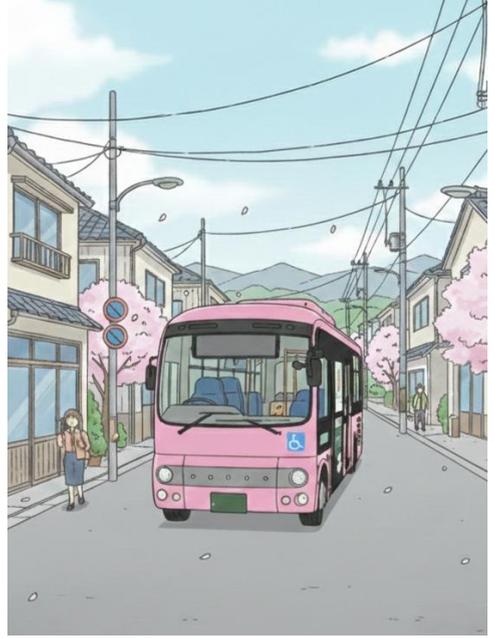


令和7年度 地域懇談会

未来につなぐ 大口町の 公共交通

令和8年2月15日

大口町 地域協働部 町民安全課



1



もし、今のように 車を使えなかったら…

- ・ 病院へどう行きますか
- ・ 買い物はどうしますか
- ・ ご家族の移動に不安を感じたことはありませんか

2

1 大口町の公共交通の現状

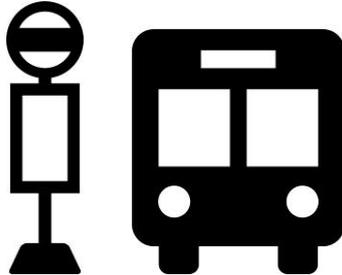
3

大口町ならではの移動事情

町内には**鉄道駅**は
ありません



民間の路線バスは
運行されていません



タクシーの供給にも
限りがあります



4

鉄道駅はないけれど…

大口町のすぐ西側には
名鉄犬山線の駅、
 東側には
名鉄小牧線の駅があります。
 町内に駅はありませんが、
 主要な鉄道へのアクセスは
 確保されています。



5

毎日のくらしを支える 移動手段

- ◆ 定時・定路線で運行されている公共交通としては、「**コミュニティバス**」が中心となっています
- ◆ 多くの方の移動を支える大切な交通手段です



6

2 コミュニティバスについて

7

コミュニティバスって、 どんなバス？

- ◆町内を定期的に走る、
誰でも利用できる公共交通です
- ◆通勤・通院・買い物など、
日常の移動を支えています
- ◆町内全域を運行、1乗車100円
年末年始以外は毎日運行しています
- ◆利用者数 **年間 約10万人**
一日あたり **平日 約350人**
土日祝 約120人



8

利用者アンケートから（令和7年11月実施）

実際には、こんな使われ方が多く見られます

①どんな用事で使われている？

- ・ 駅利用が最も多い（全体の約4割）
- ・ 商業施設、病院、公共施設への利用も一定数
- ・ 企業関連の利用もあり

②いつよく使われている？

- ・ 午前7時～10時台と午後17時台に集中
- ・ 朝や夕方、夜の利用は通勤・通学が8割

③どんな年代の人が使っている？

- ・ 80歳以上が最多
- ・ 70歳代以上が多く、20歳代以下はやや少なめ
- ・ 幅広い年代に利用されています。

9

①どんな用事で使われている？

◆駅利用が圧倒的に多い（全体の4割）

柏森駅(19.9%) + 布袋駅(10.7%) + 江南駅(9.1%) = 40%

2～3人に1人が「鉄道駅のアクセス」を目的にバスを利用しています。

◆商業施設、病院、公共施設への利用も一定数あり

メガドンキ・ユニー前、大口町役場、さくら総合病院、健康文化センター等

◆企業関連の利用もあり

東海理化前、パロマ前等

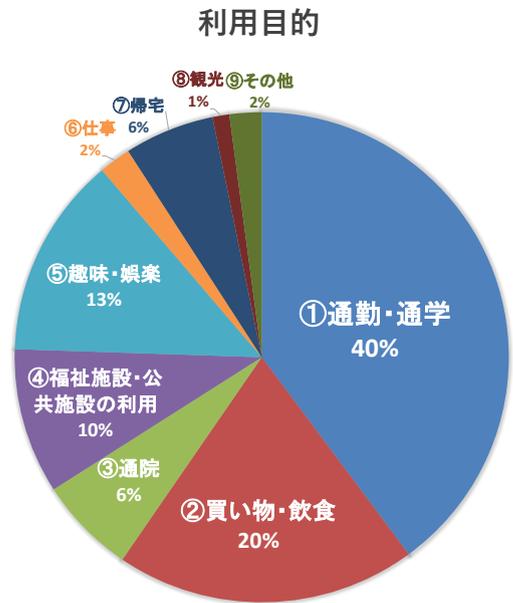
利用者の多いバス停トップ10

利用数 RANK	バス停名	一日あたりの乗車数	一日あたりの降車数
1	柏森駅	53.5	61.4
2	布袋駅	30.6	31.9
3	メガドンキ・ユニー前	28.0	25.1
4	江南駅	12.6	30.5
5	東海理化前	13.5	15.9
6	パロマ前	22.3	4.7
7	大口町役場	10.7	16.1
8	さくら総合病院前	12.3	14.3
9	健康文化センター	12.5	13.7
10	パロー前	9.4	8.8

10

①どんな用事で使われている？

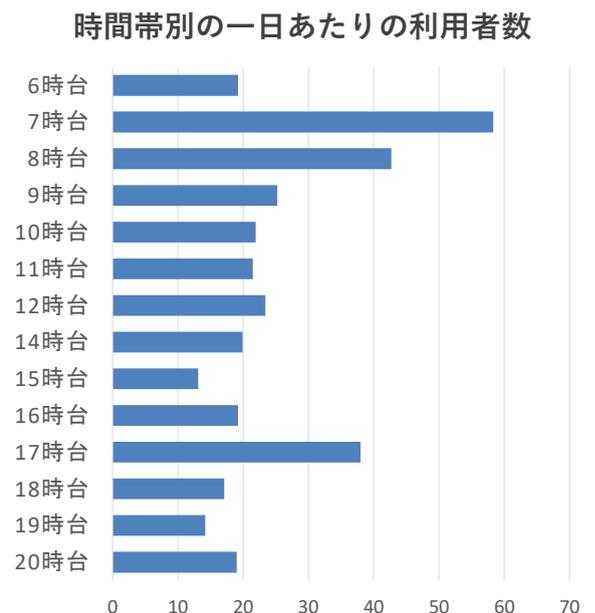
- ◆通勤・通学が最も多い
全体の4割と圧倒的に多い
特に、各駅と町内企業を行き来する利用が多い
- ◆買い物・飲食も2割と大きな割合
- ◆通院と公共施設利用も合計16%



11

②いつよく使われている？

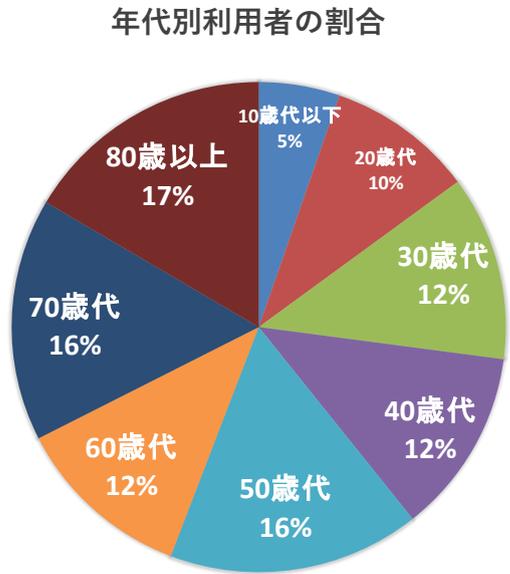
- ◆利用は朝7～8時台と夕方17時台に集中している
- ◆6～8時台、17～20時台の利用目的は通勤・通学が8割
- ◆日中（9～16時）は買い物、通院、公共施設利用の目的が多い



12

③ どんな年代の人が使っている？

- ◆ 最多は「80歳以上」
次に多いのは「50歳代」「70歳代」
- ◆ 70歳代以上が多く、
20歳代以下はやや少なめ
- ◆ 年代別の極端な利用の差はなく、
幅広い年代で利用されています



13

一方で、こんな声もあります

第8次大口町総合計画策定のためのアンケート調査より（令和7年8月実施）

◆ 利用頻度

コミュニティバスを

「**利用していない**(63.2%)」

「**年に数日利用する**(18.2%)」

約8割の住民が日常的な移動手段として使っていない

◆ 利用しない理由

- ・ 乗りたい時間に合わない
- ・ 車など他の移動手段がある
- ・ 移動手段の大部分が

「**自分で車やバイクを運転する**」

「**家族等の車による送迎**」

14

一方で、こんな声もあります

第8次大口町総合計画策定のためのアンケート調査より（令和7年8月実施）

◆重要度の上昇

「巡回バスの利便性」について
全37項目中で前回調査時からの
重要度に関する上昇幅が、
最も大きい
➔移動手段を重要と考える人が
増えている

◆優先度順位が高い

施策の優先度順位（全37項目）

全体	5位
北地域	4位
中地域	7位
南地域	1位

15

3 公共交通以外の交通サービス

16

町内を走る交通サービスの一例

企業送迎バス

会社の従業員向けに、通勤のために運行



スクールバス

小学校の下校バスや自動車学校の送迎バス等、児童・生徒の通学のために学校が運行



病院巡回バス

町内の総合病院が、病院への通院を支えるために運行



おでかけサポートカー

外出に不安のある方を対象に、地域で支える移動サービス
(令和7年10月開始)



17

誰でも使える？使えない？ — 交通サービスのちがい —

<誰でも利用できるもの>



<利用者や目的が限られるもの>



それぞれが町の移動を部分的に支え合っています

18

おでかけサポートカーとは？

～地域で支える 日常のおでかけ～

利用者登録 72名
(令和8年1月末時点)

ひと月に 約120回 運行

- ◆ おでかけサポートカーは、**外出に不安のある方を対象に、通院・買い物・地域活動などの移動をお手伝いする移動サービス**です。



- ・地域のボランティアドライバーが役場の公用車で送迎します。
- ・利用は**事前予約制**で、利用料金は**無料**です。
- ・安心して外出できる**環境づくり**を目的とし、現在は**南地域**で運行しています。

19

4 これからに向けて

20

大口町地域公共交通計画を作成しています

①どんな計画？

高齢化や人口構造の変化が進んでいる中で、将来も安心して移動できる町であり続けるために、大口町の公共交通の方向性を示す計画です

②どのように作っている？

- ・住民アンケートや利用者アンケートを実施
- ・コミュニティバスの利用実態調査を実施
- ・協議会で検討しています

③今後の予定

- R7.4～ 各種調査開始
- R8.4～ 調査結果をもとに協議を重ね、素案を作成
- R8.12 **パブリックコメント**
- R9.1～ 最終仕上げ
- R9.3 「大口町地域公共交通計画」完成

今日の皆さんの声も大切な材料です



21

なぜ、今考えることが大切なのか

暮らしに直接関わる問題

- ・免許返納後の移動手段
- ・通院・買い物への影響
- ・家族の負担増加

あとからでは間に合わない

- ・なくなってからでは遅い
- ・今なら見直しができる
- ・準備には時間が必要

続けるのが難しくなっている

- ・運転手不足
- ・運行コストの増加
- ・働き方ルールの変更

近年、国の制度改正により、運転手の働き方のルールが変わりました。その影響で、大口町でも減便やルートの見直しを行っています。



22